

平成28年度校内研究の概要

南部町立南部中学校

1 研究テーマ

＜研究主題＞気づき・考え・表現し合える生徒の育成

＜研究副主題＞「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業と評価方法の研究

2 研究の重点（柱）

○アクティブ・ラーニングの実践と評価法に関する理論的学習、研究

○先進校視察や出前授業の実施による実践への準備

○アクティブ・ラーニングを取り入れた授業と、その評価の実践研究

3 研究の内容

①理論的研究

本年度は、アクティブ・ラーニングを研究する2年目である。昨年度の理論的な学習・研究内容に対する理解を深めていく。さらに、多様な実践者や研究者の文献等を研究主任を中心に紹介し、共有していく。

②他者からの学び

- ・ 専門家や実践者を呼んでの出前授業

主にアクティブ・ラーニングとしての『学び合い』の実践者に出前授業やその後の研究会の講師を依頼し、理論的な学習を深める。

③実践的研究

- ・ 研究授業と事後研究会の実施

昨年度同様、ブロックで指導案検討を行った上で研究授業を実施する。その際には、評価について（授業ごとの評価方法と、校内研テーマが達成されたかどうかの評価方法）も考慮していく。

- ・ 個人研究、教科内研究

各自が日常的に、アクティブ・ラーニングとしての授業の研究・実践を行う（個人研究・教科内研究）

- ・ 異教科異学年を含む合同アクティブ・ラーニングの研究

昨年度、信州大学三崎隆先生の講演とその後の質疑応答により、異学年で行うことの意義を学ぶことができた。昨年度の実践の蓄積をもとに、本年度から本校勤務となった職員が実践を始めやすいように、異学年や異教科での合同アクティブ・ラーニングを実践し、それに関する研究を深める